

第1問 総合。テーマは地図。視点や素材は面白い。会話文による探求的学習風。

- 問1 ①史料1では国造が朝廷から派遣された総領に「請ひて」いるし、史料2・3では地方豪族は登場しないから誤文。②史料3：陸奥と常陸にまたがっている。③史料1：注にあるように653年なので大化の改新は始まっている。④史料3は「養老」なので大宝より後。
- ▼問2 I（天龍寺船）は南北朝時代で14世紀、II（三別抄の乱）は蒙古襲来直前で13世紀の鎌倉時代、III（琉球王国成立）は室町時代15世紀。よって、II→I→III。
- 問3 X：正文。Y：「北方産物が交易された」のだから忌避されていない。誤文。
- 問4 ア：地図3に村ごとの石高は書かれているが耕作者は記されていない。イ：ロシアとの国境確定は日露和親条約で幕末。東蝦夷の幕府直轄はラクスマン来航後の北方警戒であり時期も合致する。
- 問5 X：江華島事件→日朝修好条規の流れ。Y：大戦景気の話。日露戦争で輸出増加はない。
- ▼問6 aは史料2・3と矛盾する。dのように述べる根拠がないが、判断は難しいか。

第2問 古代の陰陽道がテーマの問題。探求学習的なものはなし。

- 問1 昨年はなかった考古。①土偶は女性をかたどったと一般的に言われている。③宗像神社が神として祀るのは沖ノ島。④鹿の骨を焼くのは太占。
- 問2 X：「天皇の詔書作成など」にあたるのは中務省。少し難しいが、兵部省は名前の通り軍事関係だから消去法で選べる。Y：「天皇のそばに仕えて機密文書を扱う」のは蔵人。
- 問3 Iは菅原道真(平安中期)、IIは長屋王(奈良時代)、IIIは早良親王(平安初期)。よってII→III→I。
- 問4 X：史料1の新任国司の下向＝出発は都＝中央であり、現地の業務は地方である。史料2の年中行事も中央であり正文。Y：史料2に明らか。ただ、この「暦」が具注暦であるかどうか迷うかもしれないが、前ページのリード文に「撰関や上級貴族たちは具注暦を入手し」と明記されている。
- ▼問5 a：正文だが、これらの史料だけではの正誤判断は難しい。b：暦を独自に作成はしない。Bのリード文に「地方官衙などでも書き写して備えられた」とあるのだが、見つけにくい。c：史料2に「兼ねてをもって用意せよ」とあるから正文だが、「兼ねて」を「前々から」と意味が取れたかどうか。d：Aのリード文の最後に「陰陽師は、天皇や貴族たちの個人の要請にも応え、事の吉兆を占ったり」とあるので誤文だが、4ページも前の記載であり見つけにくい。設問文に「文章AやB」と明示はあるが…。

第3問 中世の京都。ここでも会話文。会話文による探求的学習風。

- 問1 調査方法についての設問。X：最後のキョウカのセリフの「酒屋」「銭の入った容器」から、農具(b)ではなく壺(a)を思いつけば良い。Y：見世棚(c)は常設店舗。関所は(d)交通の要所に置かれる。
- 問2 I（法勝寺）は院政期、II（法成寺）は撰関政治期、III（禅宗伝来）は鎌倉時代。II→I→III。
- ▼問3 撰銭とは銭貨の選り好みをすることであり、撰銭はそれを制限することであるというのが基本。
- a b：史料1では永徳銭・洪武銭・宣徳銭が撰銭を禁止されているが、史料2で洪武銭が撰銭を許可されているから一致していないのでbが正しい。
- c d：撰銭されている＝好んで受け取ってもらえていない状態。史料1・2ともに永楽通宝は「撰銭されている（がそれを禁止する）」状態なので、dが正しい。これは突っ込んだ良問だが、難しい。
- △問4 ④瓢鮎図は水墨画。
- △問5 2 扱3 通り＝2の3乗＝8 扱の、実は素直な形式。X：中国大陸から宋銭明銭を輸入した(a)。金(b)はむしろジパング＝日本の主要輸出品。Y：遠距離の送金等に使うのは為替(c)。借上(d)は高利貸し。Z：荘園から荘園領主に収めるのは年貢だから代銭納(e)。酒屋役(f)は室町幕府の税目。

第4問 近世史の社会制度に関する問題。ここも会話文による探求的学習風。

△問1 b：関所廃止が誤り。c：お蔭参りなどの旅客は陸路で旅籠などもあった。

▼問2 I（糸割符仲間）は江戸初期、IIIは田沼時代。II（十組問屋結成）は元禄期でこれが難しいが、田沼時代よりは前だと判断してほしい。I→II→III。

問3 X：史料1に「備前藩」「津山藩」が見える。Y：史料1に「蘭学」が見える。

▼問4 a：「咨文」「回咨」は公文書。b：来ているのは商人と船頭船員のみ。c：江戸時代、正式な外交使節は朝鮮と琉球しか来ていない。清・オランダは商人のみ。d：「貿易船の数や貿易額」を制限したのは海舶互市新例で正徳の治（18世紀初）。漂着は1751年と設問文にある。

問5 ①規模から考えても大名が家臣団を血縁で結成するのは無理。②年貢の村請のこと。③川柳や俳諧は庶民にも広く普及した。④寄場組合は、関東の村々に組織され、関東取締出役を補佐した。

第5問 演劇台本、つまり架空の人物の設定を素材にした近代人物史。架空だけに。

△問1 X：内容から下関戦争で、牧野りん4歳（1864年）がなくてもa（鹿児島）は除外できる。Y：内務省新設時の長官で大久保は導いて、りん13歳（1873年）も不要。

問2 I（神風連の乱）は明治初期70年代、II（鹿鳴館外交）は明治中期80年代、III（ええじゃないか）は幕末60年代。III→I→II。

問3 X：史料後半「男子の…依るもの」にある。正文。Y：国定教科書は1900年代なので誤文。

問4 屯田兵はもともと土族授産政策なのでタクは誤り。りん20歳は1880年で憲政党は日清戦争後だから、ユキは正。りん21歳から8年間とは1881～89年で伊藤がドイツで憲法調査していたから、カイも正。選択肢がすっきりしないが、タクのみ誤っているから④。

第6問 テーマは修学旅行。会話文による探求的学習風。

問1 ア：学制は全国画一的だった。イ：戦後なので教育令はない。

▼問2 X：上海の開港は（日本史では重視しないが）アヘン戦争の結果でありペリー以前であり正文。Y：史料1の後半「東洋鬼」の罵声「戦勝の結果利権を得て」などから正文。

問3 ①朝鮮初代総督は寺内正毅。②満州国にも神社はあったことが、後の新京神社や奉天神社で分かるので、それが理由ではない。③日中戦争勃発は北京郊外の盧溝橋。

▼問4 b：厳密に計算すると大変だが、最も他府県率の高いDが勤続3年以上15%、最も他府県率の低いBが勤続3年以上8%なので逆転しているので誤文と言える。d：史料2の最後に「学校は長欠になる」とあり、教育を優先していないことが読み取れる。

問5 下線部㊦は1912年の訪日客誘致策。①地方改良運動は日露戦争後の地方復興運動。②ファシズムが問題になるのは1930年代以降。④民族自決運動は第一次大戦末期と講話会議が契機。

問6 a・b：見出し一覧の最初の記事は1971年で復帰前だからaが正文。c・d：見出し一覧の最後に「倒産・失業だけが残った…」とあり、dが正文。

問7 X：日本は日米安保条約という2国間条約にのみ参加している。Y：アジア・アフリカ会議は冷戦の東西陣営に属さない新興国の結集であり、日本の主催でもない。XY正誤で④は珍しい。

昨年同様に時間を要する史料思考問題が多い。時期判断による正誤が多いのも例年通り。判断の微妙な正誤問題があつたりして、昨年ほどではないが平均点は伸びなやみそう。

△(平易)が4問、▼(やや難)が9問なので-5ポイント。平均58点と予想します。